つなセン NEW」 No.10 2019 www.tsuna-cen.com

活動履歴と今後の予定

1/5 シェアハウス長町南オープンハウス

1/13 北浜住宅第2回管理検討会 錦町東住宅第2回管理検討会

1/22 第7回理事会

渡辺復興大臣来訪

1/28 清水沢東集会所運営会議

2/3 第12回つながりデザイン会議

2/4 NPOしおたが被災者支援ネットワーク会議出席

2/14 損保ジャパン興亜福祉財団助成金贈呈式

2/16 錦町東住宅ランチ交流会 清水沢東集会所運営会議

2/17 「新しい東北|復興・創生顕彰式典

2/24 きたはま食堂

北浜住宅第3回管理検討会 錦町東住宅世話人設立準備会

3/4 清水沢東集会所利用者懇談会&ランチパーティ

3/9 錦町東住宅第1回世話人会

3/10 シェアハウス長町南菜園WS(土づくり編)

3/12 第8回理事会

3/16 第13回つながりデザイン会議

3/17 北浜住宅会設立準備会

3/19 みやぎ地域復興支援助成金活動報告会

3/26 塩竃市ふれあいサポートセンターネットワーク会議

3/30 北浜住宅会設立総会

あすと食堂 好評開催中です!

〈これまでの内容とこれからの予定〉 *カッコ内は調理担当団体です。

1/16 あすと第一食堂(仙台白百合女子大)

1/25 あすと第二食堂(グループひまわり)

2/2 あすと第一食堂(KABO.蕎麦会)

2/10 あすと第二食堂(仙台白百合女子大)

2/23 あすと第三食堂(ほっと亭)

3/9 あすと第二食堂(宮城大学@グリーン)

3/21 あすと第三食堂(仙台白百合女子大)

お気軽に ご参加 ください!

会員数 正会員 賛助会員

f facebook いいね!数

2019年3月1日 現在(前号比)

入会のご案内/寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町を拠点としつつ、そこで培われた復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地 域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆さまからの会費や寄 付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願い致します。

継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。 ・正 会 員:年間6,000円・総会議決権あり ・賛助会員:年間3,000円・総会議決権なし

〈口座名義〉特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町

●郵便振替:02230-8-121908

●銀行振込:ゆうちょ銀行 二二九支店(ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま。

@グリーン(宮城大学ボランティアサークル) 安全安心なまちづくり 一般社団法人日本で・あーて推進協会 NPO 法人クラップス NPO法人 仙台傾聴の会 NPO都市住宅とまちづくり研究会 NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊 NPO法人 みやぎ「こうでねいと」 共立女子大学 高橋研究室 グループひまわり CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社 仙台白百合女子大学 佐々木研究室 仙台南健康友の会 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 古山研究室 東北大学 東日本大震災PGT支援機構

東北福祉大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP 日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ 長崎大学安武研究室 日本ヨーガ療法学会 認定療法士会みやぎ

宮城厚生協会長町病院 みやぎ生活協同組合 宮城大学 森本研究室 有限会社栗駒建業

役員名簿

代表: 平泉拓 副代表:新井信幸 副代表: 薄田 榮一

理事: 宮本愛

理 事:加藤涉

理 事: 森山 英子

理 事: 宮内 仁子

監事: 坂本 泰伸

編集後記

花粉症の方々にはつらい季節ですが、少しずつ 春らしい気温に近づいてきました。シェアハウスで は、秋に植えた球根が芽を出し始め、春に咲き揃う のが今から楽しみです。

この場を借りて、訂正がございます。『つなセン NEWS』第9号で、熊本県益城町と岩手県盛岡市の 支援記事写真が逆の配置になっておりました。関 係者の皆様、並びにつなセンNEWSをご覧いただ いている皆様に心よりお詫び申し上げます。〈熊谷〉

特定非営利活動法人

つながりデザインセンター・あすと長町

〒982-0011 仙台市太白区長町六丁目4番17-502号

080 - 3205 - 5177TEL MAIL asuto@tsuna-cen.com www.tsuna-cen.com

つなセン

TSUNAGARI Design Center NEWJ



復興庁顕彰受賞・渡辺大臣来訪、損保ジャパン助成決定 岩沼市・玉浦西で子供向けイベントを開催 毎月元気に、あすと食堂を開催! 【団体紹介】NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊

www.tsuna-cen.com

害公営住宅

立ち上げ

は、入居者は共用廊下や外構、集会所 等、共用部分の管理を共同で行うこと になります。そのため、住民組織の役割 には、町内会的な「住民間の交流親睦 あったり、任意加入と受け止められる 機能」に加えて、「住宅の共用部分の管 理」の二つの側面が生じますが、このこ とがよく理解されないまま、自治会が動 き出す例も見受けられています。震災 前は戸建て住宅で暮らしてきた方も多もありますので、全員を巻き込みやす くいる中、突然、共用部管理を任される いという利点があります。 ことになりますが、この点を手引きする 仕組みがないと感じています。





▲ 2月16日に行われてた錦町東住宅ランチ交流会は、多くの入居者が参加しました

つなセンが現在関わっている塩竃市 内の災害公営住宅(北浜住宅・錦町東 住宅)では、まず、公営住宅の管理の特 徴を理解していただいた上で、共用部 災害公営住宅、特に集合型の建物で管理に焦点を充てたミニマムの組織の 立ち上げを提案しています。町内会や 自治会というと、人により想起するもの が異なったり、世代によって温度差が 等、みんなが共通認識をもってスタート することはなかなか困難です。一方、共 用部管理に関しては、取り組む内容が はっきりしていて、入居者全員の義務で

> まずは、最低限必要とされる内容を 中心に住民組織を立ち上げ、一緒に清 掃や日常の管理を行う中で徐々にコ ミュニティ活動を広げていくことで、ス ムーズなコミュニティ形成につながって いくことが期待されます。

①公営住宅の管理の特徴

自治体、委託を受けた管理会社、入居者の三者 が役割分担をして、管理を行います。〔図1〕

②住民が管理する内容の具体例

建物等の管理(共益費、清掃、保守点検、集会 所の管理・運営)と生活上の管理(ごみ出しマ ナー、掲示板・回覧板の管理)があります。た だし、自治体によって、住民に任される管理内 容が異なります。

共益費から支払うもの

共用廊下等の水光熱費、集会所の水光熱費、管 理にかかる備品・消耗品費等があります。ただ し、自治体が共益費の一部を徴収する例もあり、 自治体によって仕組みが少しずつ異なります。

④共益費の管理方法

__ 皆さんのお金を預かることになるため、予算の 作成から決算報告まで、きちんと手順を踏んで 管理していくことが大切となります。

▲表1 住宅管理検討会で確認された内容







▲図1 公営住宅の管理の特徴

災害公営住宅相互の 情報交流の場づくり

2月3日、「災害公営住宅の共用部管理」をテーマに第12回つな がりデザイン会議を開催しました。あすと長町第二市営住宅、同第 三市営住宅、霊屋下第二市営住宅(以上仙台市)、清水沢東住宅 (塩竃市)、のぞみ野地区(石巻市)の住民や支援団体の方が集ま り、各地域での住民組織設立の経緯や現在の管理体制、課題等を 話し合いました。

周辺の町内会に編入された、または編入しようとしている住宅も 多く、そのような住宅では町内会とは別に住宅管理の組織を設立 し、組織体制や町内会費・共益費の集金が、重なって行われている こと等が報告されました。

また現在の課題として、組織設立時に決めた役職等が形骸化し ていて、実質の担い手が減っていること、実態に合わせた形に組織 の再編成を考えていることなどが、複数の住宅から挙げられたこと が印象的でした。

ゲストの齊藤広子先生(横浜市立大学教授)からは、各住宅の課 題は共通しているもののケースバイケースで解決策を見出してい ること、本デザイン会議のように、情報を交換し、管理体制を考える ネットワークが有効であることなどのコメントをいただきました。



▲ 第12回つながりデザイン会議では、活発な意見交換がなされました。

会員 団体紹介 No.10

NPO法人 東日本ネットワーク手にぎり隊



東日本大震災直後から「被災者復興のお手伝い」を 目標に活動を開始し、2013年からはNPOとして活動さ れている手にぎり隊の皆さん。手にぎり隊という名前に は、人と人とが手を握り合って、皆が笑顔で助け合って いけたらという想いが込められているそうです。

宮城県内で自立や生活の立て直しのお手伝いとして、 敷居を低く、誰でも気軽に参加できる「勉強お茶っ子会」 を開催しています。現在では熊本県や広島県の被災地 を中心に、被災者の不安や疑問を解消し、自立した生活 を取り戻すことができるよう、専門家による相談会を数 多く開催し、被災地の笑顔に繋がる活動をされています。

特別なことよりも、共に暮らし・学び・笑うなどの当た り前の喜びをサポートしたい。そんな想いで活動されて いる18名のスタッフの方々の被災地の「今」に寄り添う 活動が、被災地の方々の生き生きとした暮らしに繋がっ ています。

つなセンも手にぎり隊の皆さんと手を握り合って、一 緒に笑顔を届けていきたいと思います。



復興庁顕彰受賞・渡辺大臣来訪、揖保ジャパン助成決定

この度、つなセンの復興支援の取り組みが、平成30年度「新しい東北」 復興・創生顕彰を受賞することができました(応募総数132件中10件受 賞)。2月17日に仙台市内で開催された式典には副代表の新井らが出席 し、渡辺幸雄復興大臣から表彰状と楯を授与いただきました。

式典前の1月22日には渡辺復興大臣があすと長町を来訪され、つな



れたあすと長町地区3つの災 意見交換を行いました。渡辺大臣 らは、つなセンが復興庁顕彰を

受賞したことへのお祝いとねぎらい のお言葉をいただき、「復興におけ るコミュニティづくりの大切さを改め て実感した」などの感想も述べられ ました。

加えて、損保ジャパン日本興亜福 祉財団様より2018年度NPO基盤強



化資金助成を受けることになりました。2月14日に損保ジャパン仙台ビル にて開催された贈呈式に事務局の宮本、熊谷が出席し、つなセンの活動 内容の紹介などもさせていただきました。今回贈呈いただいた助成金 は、今後の認定NPO法人取得に向けた経費として活用させていただく予

岩沼市・玉浦西で子供向けイベントを開催

昨年の11月、玉浦西災害公営住宅で彫刻家の佐野さんにお越し いただき、彫刻の端材"木っ端"を使った子供向けのCoppaワーク ショップを開催しました。様々な形や色とりどりな木っ端を使い、子 供たちがオリジナルのオブジェを作成していきます。子供たちは、目 物に見立てたり、木の形から想像して山を作成したり



と、1人1人の個性が光るオリジ た。親子での参加、子供たちだ けでの参加など、多くの方に気 軽に参加いただくことができ、芸 術に触れる賑やかなイベントに

毎月元気に、あすと食堂を開催!

2月2日には、2年ぶりにあすと 食堂に「KABO.」の蕎麦会がやっ てきました。メニューは蕎麦会の 皆さんによる手打ちそばとKABO. のママたちによるアツアツの天ふ ら!また、KABO.所属のバンドメ バーによるジャズ演奏もあり、ジャ



ズの音色に耳を傾けながら打ちたての蕎麦を味わいました。

2月23日には、第三住市営住宅でほっと亭による餅つきが行われま した。臼と杵を使って子どもたちと一緒に餅つき体験をし、つきたての お餅をきなこやクルミ、お雑煮などでいただきました。

あすと食堂は毎月開催中です。皆さまのお越しをお待ちしております。

